

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします

マンガン欠乏葉を見逃さないで

- 摘果作業中に写真のような**縞模様**の葉を見かけることはありませんか？
- これは微量元素の**マンガン**が欠乏した葉の症状です。この葉は機能を十分に発揮出来ないため、**樹体生育、果実の肥大や着色等**が低下します。
- 発生原因は、土壌に含まれるマンガン含量自体が少ない場合や石灰質肥料の過剰施用により土壌pHが高くなり作物が吸収出来ない場合が考えられます。
- 対策法には、マンガン肥料の施肥や石灰質肥料の減肥により土壌のマンガン供給力を高める方法がありますが、回復には長期にわたる対応が必要です。
- 急いで回復したい場合は、市販の**硫酸マンガン溶液を100倍に希釈し**、1週間置きに2～3回葉面散布すれば1ヶ月後には治ります。

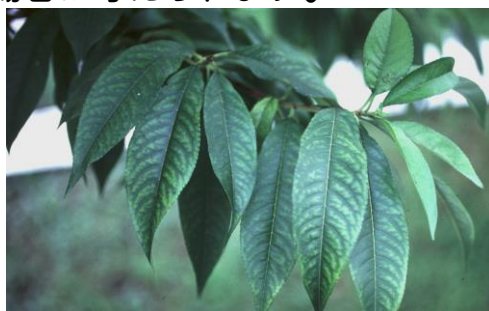


写真 モモのマンガン欠乏葉

農薬耐性菌、抵抗性害虫の出現を防止する

- 使用開始当初は十分に効いていた農薬でも使用年数の経過とともに次第に効力が低下していきます。
- 元々存在する病原菌や害虫の中には特定の農薬に対して**耐性や抵抗性を持つ**個体が少数ではありますが含まれ、薬剤防除後も生き残ります。
- この農薬だけに頼り連用を続けていると、耐性病原菌や抵抗性害虫が病害虫**全体に対して占める比率が次第に高**くなります。多世代後にはまん延した状態となり、農薬が効かなくなったという声の方々から聞こえてくるのです。
- これを防止するためには、①園内衛生の確保や耐病性・抵抗性品種の利用、②病虫害発生前の予防的散布、③作用機構の異なる農薬を防除体系に含めた**ローテーション防除**、④マシン油、ボルドー液等**作用点が限定されない農薬の利用**等による対象農薬の使用回数を減らす対応が必要です。

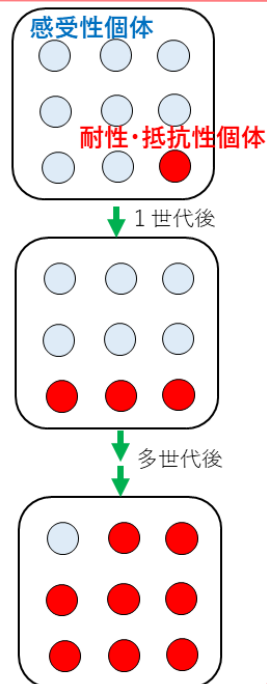


図 耐性・抵抗性個体が発達する仕組み